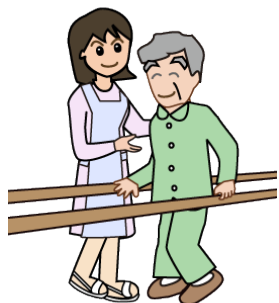


領域:リハビリテーション部

医療ニーズ:家庭で利用できるリハビリ支援システム



フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 リハビリテーション部

「自宅で自分のペースでリハビリしたい」

■リハビリテーション部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/rehabilitation_dep/index.html

■ニーズの背景

- ・立ち上がりや歩行などの運動を支援するロボットスーツ(HAL)が実用化され、主に神経・筋難病疾患で生ずる歩行機能改善に利用されている。
- ・一方、退院後、自宅で自分のペースでリハビリを支援する手軽な装置や器具が待望されている。

■現在の対応方法

- ・現在、法人向けのHALレンタルやリースは存在するが、個人向けのものではなく、自身で出来る範囲の事を実施し、定期的に通院する。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・運動療法定用機械器具 : 451品目、51億円
(薬事工業生産動態統計年報:厚生省平成11年度版)
- ・福祉機器の市場推計2300億円のうち、リハビリ機器は183億円
(HCR2001福祉機器業界の市場推)

【イメージ・参考例】リハビリ支援装置



機能アイデア例

- ・電動アシスト機能
- ・自動的に負荷を設定する機能
- ・人が動こうとする意志を電気信号で捉え、動きを補助する機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp